

○氏名 : 長谷川 秀樹 (ハセガワ ヒデキ)

○会員番号 : PEN-0223

○専門分野 : 機械工学

○保有資格 : 修士 (工学)

技術士第一次試験合格 (機械部門) 2015/12

FE 試験受験 : 2015/2

PE 試験受験 : 2021/7



Mechanical における受験科目の検討や PE 試験の情報収集を受験の 1 年前ほどから徐々に行い、本格的な勉強は 2021 年 1 月から開始した。最初に米国慣用単位 (USCS) の学習をして、PE 試験の問題全般に慣れるところから着手した。具体的には、PPI 社が出版している Mechanical Engineering Reference Manual for the PE exam, 13th Edition (MERM13) の解説や例題を参考にして学習を行った。そのおかげで効果的に単位変換の計算トレーニングを重ねられたと考えている。受験科目は普段の業務に近い内容である Machine Design and Materials の科目を選択した。また、NCEES が発行している模擬試験を購入及び PDF 化をし、通勤時間などの隙間時間を利用してこまめに学習を継続した。受験までに模擬試験を通算 6 回繰り返して、5 割だった正答率を 10 割近くまで向上させた。模擬試験を繰り返すことは、自分の苦手分野も明らかにできるので個人的にはおすすめと考えている。各問題の正誤は後から振り返るように Google スプレッドシートに都度記録をしていた。

受験日当日は東京の会場まで足を運んだ。FE 受験時も CBT 試験であったため、特に戸惑うことはなかったが、見たことのない問題が殆どであった。まずは易しい問題から着手して心を安定させるよう努めた。徐々に落ち着きを取り戻し、午前の部は 7 割程解けた手応えがあった。

昼食は会場近くの日比谷公園にて、用意していた軽めの食事とお菓子で栄養補給をした。昼食後は急な通り雨に遭遇したため、全速力で試験会場に戻った。そのため、試験に必要な栄養をすぐに消費してしまった。非常に間抜けな話だが、外でご飯を食べる際は傘を持参した方が良い。そうしないと私のように雨や汗で身体を冷やしてしまい、コンディションの低下を招く羽目となる。ちなみに試験会場は冷房が強かった記憶があるので、羽織るものは必須である。午後の部は午前と比べると難しい印象を受けた (身体的にも)。何とか最後まで食らい付いて問題を解いたが、7 割に少し届かないぐらいの感触であった。午前と午後を合わせた正答見込率は 68% で、7 割のボーダーライン? (諸説あり) に届かない結果となった。

合格と不合格のどちらにも転びそうな手応えであったため、ドキドキしながら試験結果を待つことになった。試験から 1 週間後、NCEES から結果通知メールが届いた。結果を開くと無事に Pass の文字を確認することができた。試験を振り返って思ったことは、模擬試験以外の問題にもしっかり取り組んでおけば良かったと思う。特に午後の部は応用力を試される問題が多かったので、安心して合格をされたい方は是非取り組んでみては如何でしょうか。本体験記が少しでもお役に立てれば幸いです。

以上